

(事業者向け) 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・広さは十分だが運動の場面では危険がないよう常に気を配っている。</li> <li>・活動内容によっては広く使用できるように交代制などで順番に活動している。</li> <li>・机や椅子が体に対して小さい児もいるが現状個々に合わせて調整は難しい。その分、安全や肢体児への配慮は工夫している。</li> </ul>
	②	職員の配置数は適切であるか	75%	25%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には適切。ただしコロナ禍での療養機関や待機期間等で職員数が足りない時もあり日々の体調等を職員同士で気をつけている。</li> <li>・イレギュラー対応として法人内からヘルプ要請。</li> <li>・職員数が少ない日もある。その際には普段より声を掛け合っって子どもの活動がスムーズに進むように工夫している。</li> </ul>
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	75%	25%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・段差はないが小上がりの和室がある為、適切とは言い難いが基本的には和室はお昼寝スペースとしている。</li> <li>・玄関前にスロープがある。</li> <li>・クールダウンの空間(光量の調整や感触系の物、スヌーズレン等)があるとよいかもかもしれない。</li> </ul>
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参加しているか	78%	22%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員、子どもが入れ替わる中情報を細目に共有している。</li> </ul>
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	87.5%	12.5%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改善につなげる努力はしているが難しい部分もある。その際は随時相談している。</li> </ul>
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	87.5%	12.5%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末にホームページにて公開している。</li> </ul>
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	50%	50%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・他事業所(同法人)同士で話し合う機会を作っている。</li> </ul>
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	37.5%	50%	12.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者主体のため研修を行える時間がとりにくい。</li> <li>・事業所にある発達支援の本などで各自勉強している。</li> </ul>
	⑨	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%			
	⑩	子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	87.5%	12.5%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階に応じたわかりやすいツールを使用している。</li> <li>・個人の経験や手探りの試行錯誤が多い。</li> </ul>
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人やご家族様の要望をお伺いし、適当な項目を選択、設定している。</li> </ul>

適切な支援の提供

⑫	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1度設けて話し合っている。</li> <li>・朝礼時などで話し合いを行っている。</li> </ul>
⑬	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ一人ひとりのアイデアを活かし楽しめるように工夫している。</li> <li>・ルールなどの理解を深めるためにあえて固定化しているプログラムもあるが少しずつ内容を変更している。</li> </ul>
⑭	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	87.5%	12.5%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務の都合上、把握しきれていない児がいる。</li> </ul>
⑮	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団での活動の後、個別で見る時間も作り、課題を見つけて保護者様と話し合いをし、個別支援計画を作っている。</li> </ul>
⑯	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の内容や役割分担について確認しているか	87.5%	12.5%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務時間の都合上、児童が来所してから朝礼を行っている。</li> <li>・プログラムの内容、注意事項などの打ち合わせを朝礼で行っている。</li> </ul>
⑰	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	62.5%	37.5%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・翌日の朝礼で振り返りを行っている。当日は勤務時間が職員によって異なるため難しい。</li> <li>・前日の振り返りを行うことで出勤していない日の子どもの姿が把握できている。</li> </ul>
⑱	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	87.5%	12.5%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録はとっているが、時間がない時は、簡単な文章になってしまっている。</li> </ul>
⑲	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	87.5%	12.5%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年に一回以上モニタリングを行っている。</li> </ul>
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参加しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則、管理者が参加。</li> </ul>
㉑	医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	87.5%	12.5%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力医療機関とは必要時は連携をとっている。看護指示書を書いていただきその指示を行って看護師が医療的ケアを行っている。</li> </ul>
㉒	保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	87.5%	12.5%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等での過ごし方について知らないことが多い。保護者の方から情報を共有してもらったケースもある。</li> <li>・特別支援保育事業、実施記録を記入し、情報共有している。</li> <li>・ケース会の開催や実際に保育所や幼稚園の先生方にも見学に来て頂き様子を見てもらうこともある。</li> </ul>
㉓	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、意向に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	25%	62.5%	12.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学に該当する利用者はいない。</li> </ul>
㉔	他の児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修をうけているか	37.5%	50%	12.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回覧文書等で共有している。</li> </ul>
㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいがない子供と活動する機会はあるか	12.5%	37.5%	50%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所などと併用している利用者もいるが事業所のみ利用者もいる。</li> <li>・コロナ禍ということもあり交流の機会はない。</li> </ul>

	②⑥	(地域自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども、子育て会議等へ積極的に参加しているか	12.5%	37.5%	50%	・コロナ禍だったこともあり参加出来ない野が現状。
	②⑦	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子供の発達状況や課題について共通理解を持っているか	100%			・保護者様と常に話をしており、スタッフ全員に情報共有をして、課題についての話し合いをしている。
	②⑧	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	44%	56%		・お話を伺い、このように接してみたらどうかの提案はさせていただいている。
保護者への説明責任等	②⑨	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	87.5%	12.5%		・契約の前に話し、理解を頂いている。
	③⑩	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%			・お話を伺い、一人一人に合った支援を提案し説明をして同意を得ている。
	③⑪	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			・悩みを打ち解けやすい関係性になるよう心がけ、助言と支援を行っている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		50%	50%	・コロナ禍ということもあり、保護者会は開催されていない。
	③⑬	子供や保護者からの相談や申し入れ、苦情に対して、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、相談申し入れ、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			・相談苦情窓口を設け、すぐ対応出来るよう心がけている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	100%			・毎月お便りを発行している。
	③⑮	個人情報に充分注意しているか	78%	22%		・鍵付きの書庫で書類の原本を保管している。 ・ラインでの連絡ツールはロックがかからないのでロックができるアプリなどに変更できれば尚良い。 ※複数回答あり
	③⑯	障害のある子供や保護者の意見の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	100%			
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	12.5%	37.5%	50%	・コロナ禍ということもあり地域との交流の場はまだとれていない。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	87.5%	12.5%		
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか	89%	11%		・年に二回、火災と地震の避難訓練を行っている。
	③⑳	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの情報を確認しているか	100%			・毎日の申し送りの項目に入れている。

非常時等の対応

④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%		・研修に加え、会議や日々の業務の中で管理者が虐待に繋がらないよう職員に発信してくれている。
④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で児童発達支援計画に記載しているか	87.5%	12.5%	・契約の前にお話しをし、同意を得たうえで個別支援計の作成を行っている。
④③	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	75%	25%	・医ケア児の指示書は存在するが食物アレルギーの指示書は確認できていない。 ・アレルギーがある子は今はいないため指示書自体がない。
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%		・ヒヤリハットのノルマを決めることで危険箇所や危険につながる事案などを共有している。